

ジェンダー平等推進目標掲げ、 女性の声聞いて改革進めよ

質疑項目

- 1.働く場でのジェンダー平等について
- 2.痴漢犯罪防止対策の強化について
- 3.校則の見直しと子どもの権利条約について

6月28日に神戸市議会本会議がひらかれました。日本共産党神戸市議団を代表して松本のり子議員と西ただす議員が登壇し一般質問をおこないました。

日本は、ジェンダーギャップ指数で121位と世界の水準から大きく遅れています。世界では、男女の完全な平等を掲げ、すでに前倒しで「50：50(フィフティ・フィフティ)」を達成している国もあります。神戸市役所では、2025年

に管理職の男女の割合を25%とする計画がありますが、現在の比率は17.6%とまだまだ低い状況です。松本議員は「子育て世帯が働きやすいように女性の声を聞きながら、人員の配置など強化すべき」と求めました。

松本議員が 一般質問



も長時間労働について勧告が出されている。係長になれば残業は仕方がないという観点では、女性が育児中に係長になるのは厳しいのではないかと。

久元市長：局長や課長がフォローし、みんなで苦労を分かち合うような、職場の雰囲気をつくっていかねばならないと、松本議員の指摘を聞きながら感じた。

松本議員：みんなで苦労を

分かち合うような職場にするためには、担当も係長も同じ程度の残業なら理解できるが、係長が倍ぐらい多い。

今西副市長：徐々に残業時間は減っている。

松本議員：残業なしで仕事ができ、あとは自分の家族や自分自身のための時間が持てるのが本来の姿だ。子育てや介護をしても、皆さんが同じように働けるように改革をすべきだ。

答弁ダイジェスト

久元市長：17.6%は決して高いとは言えない。係長の女

性の割合は37%と上がってきている。

松本議員：人事委員会から

神戸市が自ら調査し、さらなる痴漢の 未然防止に向けた取り組みを

今年1月に「センター試験の日に痴漢がやり放題だとネットで書かれている」と地域の方から相談があり、すぐに民間鉄道事業者や警察、市の交通局に痴漢対策の申し入れをおこないました。交通局は地下鉄と駅構内、バスに貼る3種類のポスターをつくりま

した。松本議員があげたSNSには「神戸市民として誇りに思う」「被害者に自衛を促すのでなく、みんなで通報しようというのがよい」「わが町でも使いたい」など、多数の意見がよせられました。痴漢防止に足をふみだしたのはすばらしいことです。松本議員は、さら

に被害者をなくすためには実

態を調査すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

城南交通局長：通報件数と被害件数を把握するより、痴漢をなくしていくことが最優先だ。今後も県警の鉄道警察隊、他の交通事業者との関係機関と連携を図りながら痴漢の未然防止に向けて取り組みを進めていきたい。

松本議員：被害者や周りの人がどうだったかなど、行政として実態の調査をすべきだ。

城南交通局長：プライバシーの問題もあり難しい。

松本議員：交通局として自ら調査することが、利用者の皆さんに寄りそうことになる。1月の段階では、交通局は「バスは痴漢なんてありませんよ」などと平気で言い、痴漢なんて大したものじゃないという認識だった。自ら実態調査し、痴漢を未然に防ぐための更なる努力が必要だ。

学校の校則

子どもの権利学び、人権を守る見地からの見直しを

神戸市は昨年、校則の見直しを市立の各小・中・高・特別支援学校でおこないまし

た。報告書では、子どもの権利について、すべての学校で職員の研修をしたとされてい

ます。しかし松本議員が20校の中学校に問い合わせたことは、教師が職員研修や職員会議で報告を受けた程度で、教師同士の議論はどの学校もしていませんでした。松本議員は、なぜ学校には校則が必要なのか、「個人の権

利と学校のルールとの関係」を生徒に考えさせることだと指摘し、子どもの人権を守る見地からの見直しができるように、生徒も教師も学べる時間をとるべきと質しました。

王子公園に大学誘致計画 市民は情報が足りないから反対しているという考えは誤りだ

質疑項目

1. 王子公園・動物園の再整備について
2. 六甲アイランドの活性化について
3. 理化学研究所の研究者・職員等の雇い止めについて

神戸市は、6月13日「王子公園再整備基本方針（素案）見直しに向けた、市の考え方と方向性について」を発表しました。この間の4万4449筆の署名をはじめとする市民の世論によって当初案は撤回され、今回の見直しでは、遊園地を当面存続するなどの幾つかの変更がおこなわれました。

た。しかし、プールは撤去され、テニスコートやスタジアム、補助競技場も縮小されます。市民が願っている動物園の拡充もおこなわれません。西議員は、大学誘致に固執し、市民の大切な施設を廃止・縮小する計画は撤回するべきと質しました。

西議員が一般質問

み、持続可能でないと考えている。

今西副市長：大学の効果についてまだ浸透ができていないと思っている。

西議員：反対の人がいなくなるということが、浸透したということなのか。

今西副市長：先生（西議員）のように根っからの反対という方には難しいのかもしれないが、大学の効果を理解していただけるように、情報を届

けようということだ。

西議員：市民が自ら考えて出した意見に対し、頭ごなしに「納得しない方が悪い」というような非常に失礼な発言だ。当事者から話を聞くと、結局はもう決めた方向で進めようとしている。市民の声を全く聞かず大学誘致に納得しない市民は情報が足りないからだ。決めつけ、公の施設を廃止・縮小するような計画は撤回すべきだ。

答弁ダイジェスト

久元市長：神戸市内には、質の高い競争力のある大学が不可欠だ。今後意見交換会などを通じ、大学誘致の必要性

を丁寧に説明し理解を求めていきたい。

西議員：市民は大学誘致ありきの計画は社会問題を解決するどころか様々な問題を生

「社会主義・共産党国家ではないからまちづくりに市は関与しない」と市長

住民の願いに応えたまちづくりは神戸市の責任で!!

六甲アイランドの中心部にあるRinkは、スーパーのパントリーが数年前に撤退し、その後もテナントの入居は進まず、にぎわいが失われた状況にあります。2万人の方が暮らす六甲アイランドでは、3軒あった本屋が一つも無くなってしまいました。市民の

皆さんからは、Rinkに本屋がほしい、スーパーがほしい、電気屋がほしい、皮膚科などのクリニックがほしいなどの声があがっています。西議員は、そうした市民の願いが実現できるように、市が責任を持ってまちづくりに取り組むべきだと質しました。

答弁ダイジェスト

今西副市長：住民や事業者との話し合いにも入って意見を聞かせていただいている。よい生活利便施設が入ってくるように、これからも努力をしていきたい。

西議員：アンケートで市民が一番求めていたのが本屋だ。その他映画館や電気屋、医療機関、スーパーなど、これほど多くの意見があがっている。市長はこれらの願いに応えるべきではないか。

久元市長：神戸市のような大都市で自治体が本屋や映画館を経営すべきか。日本は社会主義国家、共産党国家ではないのだから、供給は民間に委ねるべきだ。

西議員：他のニュータウンでは、地域の賑わいに近隣センターが力を入れてきた。民間ばかりに任せるやり方が今の六甲アイランドの状況をつくった。神戸のまちづくりに市が責任を負うべきだ。

労働契約法に反する大量雇止めは撤回すべき

理化学研究所の研究系職員300人が「10年の雇用上限」を理由に2023年3月末に雇用

を切られようとしています。これは労働契約法の趣旨に反して非正規雇用労働者が無期

雇用に転換する前に雇止めをしようという極めて悪質なものです。理化学研究所は市が誘致し、医療産業都市の中核施設と位置付け、土地も買い、安い賃料で入居を認めてきました。そうした施設で大量の解雇が起ころうと

している時に神戸市が黙っていることは許されません。西議員は、神戸市が理化学研究所に対して雇止めのストップを要請するよう求めました。

大学誘致、プールの移設、テニスコートとサブグラウンドの縮小など、皆さん反対の声をあげましょう!!

王子公園再整備基本方針(素案)の見直しに向けた

参加者公募による意見交換会が開催されます

開催日時 7月24日(日) 14時から16時
※第1回(7月14日(木))は終了しました。

定員 100名(先着順)

対象者 神戸市民 (市内に在住・在勤・在学、事務所・事業所を有する方)

開催場所 神戸市立王子動物園
動物科学資料館内動物園ホール

●問い合わせ先

神戸市総合コールセンター 年中無休 8時~21時

申込方法

神戸市HP(イベント管理システム)より申し込みください。

申込期間 7月12日(火) 12時から7月20日(水) 17時まで



電話 0570-083330 または 078-333-3330